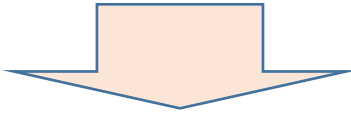




# 高齢者施設等における感染者発生対応マニュアル

- ① 標準予防策を再確認しましょう。 ⇒ 2頁
- ① 必要な个人防护具が揃っているか、適切な手順で着脱できるか確認しましょう。 ⇒ 5頁
- ② 必要な資材（ゴミ箱（陽性者の廃棄物の処理方法の確認）・消毒液・検査キット）を確認しましょう。 ⇒ 9頁
- 
- ③ 陽性者を隔離しましょう。 ⇒ 11頁
- ④ 陽性者、濃厚接触者のリストアップをしましょう。 ⇒ 12頁
- ⑤ 施設内でのゾーニング（区画分け）を考えましょう。 ⇒ 17頁
- 
- ⑥ 連携医療機関，保健所，市町村・県の福祉部局へ報告・相談しましょう。 ⇒ 21頁
- ⑦ 施設管理者の下，対策本部を設置して業務の役割分担をしましょう。 ⇒ 24頁
- ⑧ 施設の運営を検討し，職員全体で共有しましょう。 ⇒ 26頁
- 
- ⑨ 利用者・職員の方の健康状態を日々確認しましょう。 ⇒ 29頁
- ⑩ チェックリストで対策の実施状況を確認しましょう。 ⇒ 30頁

施設で陽性者が出ると、誰もが「これからどうなるのだろうか？」と不安になります。

新型コロナウイルスは施設で広まりやすい感染症で、しばらく対応が続くかもしれませんが、落ち着いて対応することで感染拡大を防げます。また、早期に治療を開始することで重症化リスクを減らすことができます。次の手順に沿って、どう動いたら良いか確認しましょう。

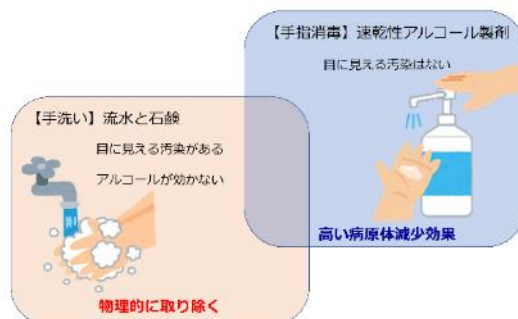
## ① 標準予防策を再確認しましょう。

標準予防策とはケアを行うすべての場面で適用される感染予防策です。

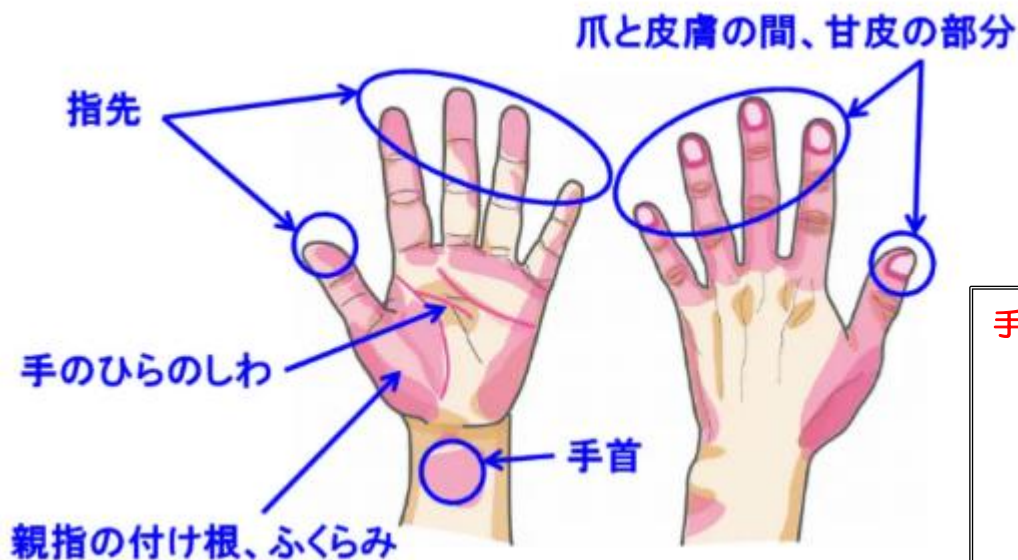
「汗を除くすべての血液、体液、分泌物、損傷のある皮膚・粘膜は感染性病原体を含む可能性がある」という原則に基づきます。

手指衛生や個人防護具（マスクやガウン他）の着用などにより、感染リスクを減少させることができます。

- 手指衛生には、「目に見える汚れがついた時またはついたかもしれない時は、流水と石鹸を使用する方法」と、「目に見える汚れがない時、患者・利用者様等に直接接触する前などに使用する消毒液（主にアルコール）を用いた手指消毒」の2種類があります。
- アルコールによる手指消毒の方が高い病原体減少効果を持つ\*ため、手指消毒を優先して行いましょう。手指消毒液はいつでも使えるよう携帯しましょう。（\*ノロウイルスや疥癬などを除く）
- 手荒れ防止のために、ハンドケアを行いましょう。
- 特に汚染されやすい指先や指のまた、親指など特に注意して洗いましょう。



【洗い残しの多い部分】



手洗いも重要です！



(厚生労働省動画)

【流水石鹼の手洗い】

感染を防ぐための確実な手洗い方法

12ポイント洗いましょう

1 手の平をこすりあわせる



2 両手の指の間をこすりあわせる



3 4 手の甲をもう片方の手の平でこする(両手)



5 指先をもう片方の手の平でこする



6 爪部分を洗う

7 8 左右をかえて⑤⑥を繰り返す



9 10 親指をもう片方の手でこする(両手)



11 12 手首を丁寧にこする(両手)



液状石鹼を使い、時計等はずして15秒以上洗いましょう

鹿児島大学病院ICT

【液状製剤による手指消毒の方法】



①ノズルを最後まで押します



②たまった液で爪先を洗います



③反対の手に残った液を移し、もう片方の爪先を洗います



④手の平に擦り込みます



⑤手の甲(両手)に擦り込みます



⑥親指(両手)に擦り込みます



⑦手首(両手)に擦り込みます



⑧乾燥させます

\*最後はよく乾燥させましょう

鹿児島大学病院ICT

ノズルを最後までプッシュして十分量とる。指先から消毒し、最後に手首まで擦り込む

## 【ゲル状製剤による手指消毒の方法】



①手のひらに1回  
～2回押します  
(20～30秒程度で  
乾く量を目安に)



②両方の手のひら  
にまんべんなく擦  
り広げます



③片方の手のひらの上  
でもう一方の指先や爪  
の間に擦り込みます



④反対側の指先や  
爪の間に擦り込み  
ます



⑤手の甲(両手)に  
擦り広げます



⑥指の間は両手を  
組んで擦り広げる



⑦親指, 付け根も忘  
れずに擦り広げる



⑧両手首までしっか  
りと擦り広げる

\* 最後はよく乾燥させましょう

鹿児島大学病院ICT  
平成30年6月作製

- 新型コロナウイルスなど呼吸器感染症の流行期にはサージカルマスクを着用しましょう。利用者のマスク装着が難しい場合はゴーグル・フェイスシールドなどで目を保護しましょう。
- 口腔ケア・陰部洗浄・排泄介助・おむつ交換・清掃・リネン交換・吐物処置の際には手袋・使い捨てエプロンも装着しましょう。